

協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

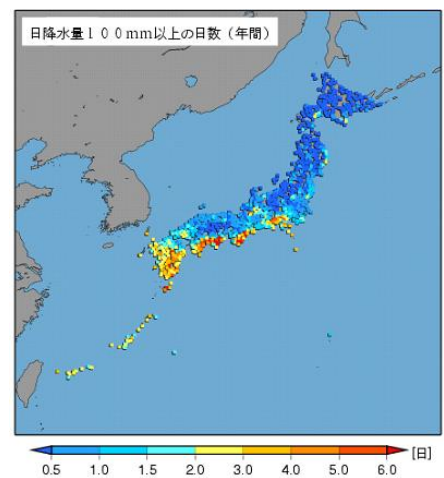
TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: dha_epa@par.odn.ne.jp

タマ生化学株式会社 渡辺 剛

この度の西日本を中心とした豪雨による災害におきまして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

気象庁は29日「関東甲信地方で平年より22日早い6月29日ごろに梅雨明けしたと見られる」と発表しました。この日たまたま広島に行っていましたが、この時既にかかなりの降水量となっており倒木などで交通機関が乱れていました。日本の国土は南北に長いこと亜寒帯から亜熱帯まで様々な気候区分に属すと言われていたが、海に囲まれ、さらに起伏に富んだ独特な地形から、東西でもやはり気候は大きく違っていると感じていました。その後、気象庁は「7月4日に停滞する前線の影響で、本州では8日ごろにかけて大雨が続く恐れがある」と発表していました。日本の年間平均降水量は約2,000mmで多いところでも約3,000mmです。ところが、今回の豪雨では、停滞した梅雨前線や台風7号による影響で場所によっては年間平均降水量の半分の1,000mmを超える雨が約10日間足らずで降ったそうですが、1mを超える雨が降り、その水が一挙に川に集まったら。冷静に考えてみると物凄いことが起きたことを改めて実感しました。今回のような災害の教訓を生かすためには、やはり広域ではなく、狭い地域単位あるいは小さな集落単位で判断基準を検討し、早めの避難計画を立てることなのではないでしょうか？気象庁のHPには年間を通して1日の降水量が100mm以上の日数が載っています(http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/riskmap/list4_1_1.html)。ただ、これからすると、今回被害が大きかった広島や岡山はたった1日程度です。甚大な被害が起きるときには決まって「想定外」というフレーズを見ますが、そもそも災害は、予想できなかった予想を超えてしまったため起こるものです。では、「どこまで？」との疑問になりますが、これは大変難しい問題です。現在、首都直下型や南海トラフなどの地震も危惧されています。まずは、私たち一人ひとりの日ごろからの心構えが一番重要なのでしょう。



《研修会のご案内》 ※研修会は会員限定です。

日時:平成30年9月18日(火)13:00~15:00(12:45 集合)

研修先:玉川大学 学術研究所

Future Sci Tech Lab 植物工場研究施設、LED 農園(サイテックファーム)

※8月上旬に正式なご案内をお送りしますので、ご案内に従ってお申し込み願います。

《幹事会のうごき》平成30年6月8日(金)15:00~17:00に、一般財団法人日本水産油脂協会新館において平成30年度第3回幹事会が開催された。

- ・第21回通常総会に関わる経費について、事務局より報告があり了承された。また、参加者についても報告があり、幹事からは意見等が述べられた。
- ・本年度の「研修会」について、玉川大学農学部へ受け入れをお願いすることにした。
- ・公開講演会について、未決の講師を再度検討した。